



園だより 8月号

令和元年 7月19日
睦沢町上之郷1736
睦沢町立睦沢こども園
0475-44-0050



今年は梅雨が続く、涼しい日が続いていますが、5歳児の花壇に植えたひまわりが、子どもたちの背丈よりも大きくなって、花を咲かせました。子どもたちは、「ひまわりが大きくなったでしょ。」「ぼくとどっちが大きい?」と背比べをしていました。ひまわりの方が大きいことが分かれると「かうれんぼできるよ。」と葉っぱの下に隠れたりし、夏の自然で遊んでいました。

1学期が終わりますが、子どもたちは、園生活や担任にも慣れ笑顔がたくさん見せてくれています。0・1・2歳児は、園庭を散策したり、戸外で遊びたい玩具を探して遊んだりしています。また、自分でおやつや給食を食べられるようになりました。3・4・5歳児は、戸外遊びに夢中で、小さい図鑑を持って、虫探しをしたり、友達とたくさん体を動かして遊んだりしています。

7月22日から、1号認定(短時間児)のお子さんは、夏休みに入ります。2・3号認定(長時間児)のお子さんは、園で水遊びやどろんこ遊びをたくさん行い、楽しく元気に過ごしていきたいと思います。夏ならではの遊びをたくさん経験できるようにぜひ御家庭でも、御協力をお願いいたします。家族で出かける機会も多くなりますので、事故や怪我には、十分気を付けて頂き、楽しい夏をお過ごしください。

8月のねらい

- 0歳児・一人一人の健康状態に合わせて、暑い夏をゆったり過ごす。
 - ・保育者と一緒に、ふれあい遊びや水遊びを楽しむ。
- 1歳児・暑い夏を健康に過ごす。
 - ・友達や保育者と一緒に夏ならではの遊びを楽しむ。
- 2歳児・水分や休息を十分に取、暑さに負けずに夏ならではの遊びを思う存分楽しむ。
 - ・夏の自然に興味をもつ。
- 3歳児・夏の生活の仕方が分かり、自分でできることは自分でしようとする。
 - ・夏の遊びや興味のある遊びを、友達や異年齢児と一緒に楽しむ。
 - ・身近な夏の自然に触れて楽しむ。
- 4歳児・夏を健康に過ごすための生活習慣が分かり、進んで取り組む。
 - ・友達や異年齢児と一緒に夏の遊びを十分に楽しむ。
 - ・夏の身近な自然に興味をもち、見たり触れたりして楽しむ。
- 5歳児・夏の生活の仕方に関心をもち、健康な生活に必要な習慣を身に付ける。
 - ・遊びを存分に親しみ、自分なりの目当てに挑戦する喜びや満足感を味わう。
 - ・夏の自然事象や身近な動植物にふれ、関心を高める。

2歳児(こあら組)の姿

最初は恐る恐るどろんこ遊びや絵の具遊びをしていましたが、今では泥の中で寝転んで泳ぐ真似をしたり、手に絵の具をつけ、大きな紙に塗ってみたりして、思いきり遊び、解放感を味わっている子どもたち。水遊びでは、水の冷たさが気持ち良く水のかけあいを楽しんでいます。これから暑い日が続きますが、暑さに負けず夏ならではの遊びを保育者や友達と十分に楽しめるようにしていきたいと思います。

また、最近では手を繋いだり、同じ遊びをしたりして、友達とふれあって遊ぶことを楽しむ姿が見られるようになりました。しかし、まだ友達との関わりがうまくできずに、友達の使っている玩具がほしくて取り合いになることや、手が出てしまうこともあります。保育者が間に入り、友達が使っていることを知らせたり、保育者と一緒に「貸して」と相手に伝えたりして、友達と遊ぶ経験を重ねられるよう援助しています。子どもたちが「友達と一緒に過ごす楽しい」と感じられるよう、今後も手助けをしていきたいと思います。

5歳児(ほし・つき組)の姿

天気の良い日は戸外で過ごし、鬼ごっこや長縄などで体を動かす楽しさを感じたり、身近な自然に関心をもち、見たり触れたりする姿が見られます。また、裸足になって砂・水・泥の感触を味わいながら、山や川作り、ウォーターライダー作り、泥団子作り、泡・色水遊びを友達と一緒にダイナミックに取り組み、「どろんこ、苦手だったけど好きになったよ。」「先生。すごいどろんこになっちゃった。」という声も聞かれました。運動公園のプール遊びでは、みんなで渦や大波を作ったり、ビート板でもぐる、浮くなど友達の姿を真似したりしながら、水に親しむ姿が見られました。色々なことに挑戦し、自信をもって取り組む気持ちが育ってきたように思います。

クラス花壇に植えた夏野菜も大きくなっています。生長や収穫を楽しみにしながら暑い夏を元気に過ごしていきたいと思います。



5歳児：築山の上からスライダーを作り水を流したり、ボールを転がしたりしました。



3歳児：雨の日に巧技台で遊びました。どうやったら渡れるか考えながら、はしごを渡ったり、小さいトランポリンでジャンプをしたりして体を動かしました。



2歳児：砂場で水を使って遊びました。大好きな水を流してもらって大喜びでした。



5歳児：七夕祭りの集いで「あおいそらにえをかこう」の歌をみんなの前で歌いました。1人1人が自信をもって元気よく歌うことができました。



園庭開放・おはなしの広場

日時：8月 6日(火) 9:50~11:00

おはなしの広場11:00~11:30

20日、27日(火)9:50~11:30

対象：未就園児

場所：睦沢こども園園庭・子育て支援室

★気軽に遊びにきてください。

8月の歌♪

- ・みずあそび ・しゃぼんだま
- ・うみ ・南の島のハメハメハ大王
- ・おぼけなんてないさ
- ・さかながはねて ・とんでったバナナ
- ・てのひらをたいように



「遊びと勉強どっちが大事？」と考えていらっしゃる保護者の方もいるかと思います。「HAPPY子育ておことばBOOK」の中では東京大学名誉教授 汐見稔幸先生が書かれている記事を見ると、乳幼児期の子どもは遊びが大切とのことでした。「自然の中で遊ぶ」「友達と何かを作った」という生活の体験が大切だそうです。その体験を土台にして、「昆虫って不思議だな」「もっと大きな砂山を作りたい」など、夢中になる気持ちが生まれ、何かに熱中すると「もっと知りたい」「もっと集めたい」という思いが強くなり、工夫したり、調べたりし、「考える力」「工夫する力」が身につくそうです。学力や知識はその気持ちになればいくらでも身に付くそうですが、生活体験やもっと知りたいという、探究心が乳幼児期の子どもの成長に重要だそうです。

セミの豆知識

日本には、30種類ものセミがいるそうです。土の中で約3~17年過ごした幼虫が、地面から出てきて木に登り、羽化します。成虫になってからの寿命は、だいたい2~3週間ですが、1か月近く生きるセミもいるそうです。



こまめに水分補給を

乳幼児の体は80%を水分が占めていますが、汗をかいて体温調節をしたり、尿として出したりして失われていきます。水分補給は、一度にたくさん飲むのではなく、汗をかく前にこまめに飲むようにしましょう。起床時・就寝前・遊びの前後・お風呂の前後などに、コップ1杯を目安に飲むとよいようです。



4歳児：クラスの前の廊下にアイスクリーム屋さんできました。美味しそうですね。



1歳児：たらいに金魚のおもちゃを浮かべて金魚すくいをしました。「ぼい」を上手に使ってすくいました。



0歳児：みんなでおいしくおやつを食べました。自分で口に運んで食べられるようになりました。自分で食べられない子どもは先生に手伝ってもらいながら食べました。



5歳児：運動公園のプールで、みんなで電車になって歩いたり、ビート板で泳いだりしました。



2歳児：巧技台にチャレンジしました。手と足を動かしてはしごを上手に渡ったり、ハードルをジャンプしたりしました。



七夕祭りの集いで職員が合奏をしました。見たことのない楽器の音(管楽器)を聞き、楽器の音に合わせて「たなばたさま」の歌をみんなで歌いました。



5歳児：フッ化物洗口が始まり、毎日取り組んでいます。「虫歯にならないように、家でも歯磨き頑張っているよ。」と教えてくれました。



3歳児：運動公園のプールに5歳児のプールの見学にいきました。「楽しそうだね。」と友達と話をしていました。

